平成３０年度当初予算編成のポイント

普通交付税の「合併特例措置」終了に伴う影響により、昨年に引き続き、平成３０年度も一般財源総額の更なる減少が見込まれる中、健全な財政運営を維持することを前提に、これまでの既存事業の改善・見直しも行うと同時に、熊本地震からの創造的復興や「八代市の未来のために力を注ぐ５つの政策の柱」について、最も効率的な手法を見い出す予算編成に取り組む。

１　市長の基本政策【八代市の未来のために力を注ぐ５つの政策の柱】の推進

・３つの基本理念「市政の安定化」「熊本の副都心づくり」「地域経済の浮揚」の実現のため、基本政策として掲げる５つの政策の柱

（１）農林水産業の更なる振興

（２）経済の浮揚と雇用・交流人口増による賑わいの創出

（３）誰もが幸せを実感できる暮らしの実現

（４）安全・安心で魅力ある都市を築く

（５）誇るべきふるさとを未来につなぐ

のそれぞれに位置づける施策について計画的な取組みを進める。

２　震災復興対策【八代市復旧・復興プランに基づく取組】の継続・推進

・昨年度に引き続き、熊本地震からの復旧・復興に着実に取組み、また、震災からの創造的復興により八代市の発展に繋がるような取組みを進める。

３　節税対策【創意工夫ある改善措置】の継続・推進

・中期財政計画における中長期的な財源不足の解消のため、ＦＭ（ファシリティマネジメント）の活用による事業手法の見直しを計画的に実施できるよう検討を行う。

・また、限られた財源の中で、最大限の効果をだせるよう、投資すべきものと調整（減額）すべきものの対象を明確にし、メリハリとヤリクリの観点にたって、真に必要かつ適時適切と認められるものに限って取組みを進める。